

ポーランド語の受動文

カチマレク・ミロスワバ

ポーランド語では、典型的な受動文を作るために、受動の形動詞を作る語尾-*n(y)*, -*on(y)*, -*t(y)*¹ [例：*czytany* (読んだ), *znaleziony* (見付かった), *ukryty* (隠れた)]及び、*być/bywać* (いる：ある/いられる) または *zostać/zostawać* (おく/おかれる) という助動詞の人称形を使用する。その他に、動作主を表示するために、*przez* (によって) という前置詞を使うことがある。また、非人称形の受動文を作るために、*-się* という再帰動詞が使われることがよくある。

例えば、次のように整理できる：

I. 受動の形動詞の形式

1. *być* タイプ＋受動の形動詞

- a) 不完了体 例：*jest powtarzany* 繰り返されている
- b) 完了体 例：*jest powtórzony* 繰り返される

2. *bywać* タイプ＋受動の形動詞

- a) 不完了体 例：*bywa powtarzany* 時には繰り返されている
- b) 完了体 例：*bywa powtórzony* 時には繰り返される

3. *zostać* タイプ＋受動の形動詞完了体

例：*został powtórzony* 繰り返された

4. *zostawać* タイプ＋受動の形動詞不完了体

例：*zostaje powtarzany* 繰り返されている

II. *-się* 構造：能動態3人称形に基づく — 不完了体のみ (非人称形の受動文)

例：*szkoła buduje się* 校舎は建築中だ。

książka czytała się dobrze この本は読み易かった。

(Grzegorzczkova 1999 : 195)

¹ 男性形動詞の例である。

ポーランド語の基本的受動文の形は、例(ア)a.のようになっている。ただし、自然な場面を想像すると、受動文ではなく、むしろ(ア)b.のように能動文によって表される方が普通である。

(ア) A は B に叩かれた。(直接受身)

a. *Adam(A) został uderzony przez Macieja(B).*

Adam 人名(A)主格; został (おく): 助動詞 3 人称過去形; uderzony 叩かれた:
形動詞 3 人称男性形; przez によって: 前置詞; Macieja 人名(B)対格;

b. *Maciej(B) uderzył Adama(A).*

Maciej 人名(B)主格; uderzył 叩いた: 動詞 3 人称男性過去形; Adama 人名(A)対格;

例(イ)は、日本語のいわゆる間接受身文である。ポーランド語に訳すと、被影響者(A)が目的語になり、動作主(B)の方が文の主語になる。動詞は受動形にはならない。つまり、例(イ)のような日本語の受動文をポーランド語に訳す場合、受動文は使われないのである。

(イ) A は B に足を踏まれた。(持ち主の受身、体の部分)

Maciej(B) nadepnął Adamowi(A) na nogę.

Maciej 人名(B)主格; nadepnął 踏んだ: 動詞 3 人称男性過去形; Adamowi 人名(A)与格;
na 前置詞; nogę 足: 対格;

例(ウ)も例(イ)と同じように、間接受身文である。ポーランド語に訳す際、(ウ)a.のような動詞の受動形は作れるがあまり使われない。例えば、以下の場合では、(ウ)b.のように能動文で表わすか、(ウ)c.のように加害者を明示しないという方法が考えられる。

(ウ) A は B に財布を盗まれた。(持ち主の受身、持ち物)

a. *Adam(A) został okradziony z portfela przez Macieja(B).*

Adam 人名(A)主格; został (おく): 助動詞 3 人称過去形; okradziony 盗まれた:
形動詞 3 人称男性形完了体; z から: 前置詞; portfela 財布: 名詞第 2 格; przez から:
前置詞; Macieja 人名(B)対格.

b. *Maciej(B) ukradł Adamowi(A) portfel.*

Maciej 人名(B)主格; ukradł 盗んだ: 動詞 3 人称男性過去形;

Adamowi 人名(A)与格；portfel 財布：対格；

c. *Adamowi(A) skradziono portfel.*

Adamowi 人名(A)与格；skradziono 盗まれた：動詞無人称過去形；portfel 財布：対格；

更に、例(エ)では、日本語では受動文を作れるが、ポーランド語で類似する場面を叙述するのに、通常は能動文しか使われない。

(エ) 昨日の夜、私は赤ん坊に泣かれた。それでちっとも眠れなかった。

(自動詞からの間接受身)

Wczoraj w nocy płakało dziecko i z tego powodu nie mogłam zupełnie spać.

wczoraj 昨日；w nocy 夜に；płakało 泣いた：動詞3人称中性過去形；dziecko 子供：主格；i そして：接続詞；z tego powodu それで；nie ない：否定助詞；mogłam できた：法の動詞1人称女性過去形；zupełnie 全く：副詞；spać 眠る：動詞不定形；

例(オ)では、典型的な受動文(オ)a.が作れるが、あまり使われない。ポーランド語に訳す際、むしろ動詞を無人称化することによって、文の動作主を非明示にするという文法操作を行う。例(オ)b.では、ポーランド語の動詞形 ~no が特徴的である。

(オ) 新しいビルが (A によって) 建てられた。(モノ主語受身、一回的)

a. *Został wybudowany nowy budynek.*

został (おいた)：助動詞3人称男性過去形；wybudowany 建てられた：形動詞3人称男性；nowy 新しい：形容詞男性主格；budynek ビル：名詞主格；

b. *Wybudowano nowy budynek.*

wybudowano 建てられた：動詞無人称過去形；nowy 新しい：形容詞対格；budynek ビル：名詞対格；

例(カ)の場合、文の動作主を明示しないことによって、無人称の受動文が作れる。その場合、動詞3人称形と~się という再帰代名詞の組み合わせが用いられる。

(カ) カナダではフランス語がはなされている。

(モノ主語受身、恒常的。動作主が問題にならない場合)

W Kanadzie mówi się po francusku.

w で ; Kanadzie カナダ : 名詞前置格 ; mówi się 話される : 再帰動詞 3 人称現在形 ;
po で : 前置詞 ; po francusku フランス語で : 名詞造格 ;

例(キ)の受動文を日本語からポーランド語へ翻訳するのはまったく問題ない。

(キ) 財布が (A に) 盗まれた。

(モノ主語受身, モノ主語の背後に被影響者が想定される)

Portfel został skradziony przez Adama(A).

portfel 財布 : 名詞主格 ; został (おく) : 助動詞 3 人称過去形 ; skradziony 盗まれた :
形動詞 3 人称男性形 ; przez によって : 前置詞 ; Adama 人名対格 ;

例(ク)の場合, 物事の結果状態を叙述するのに, 以下の(ク)a.のように受動文を使うこともあるが, 物事の状態を表わすために, (ク)b.のように能動文を使うことも多く, こちらの方がより自然であると思われる。

(ク) 壁に絵が掛けられている。(モノ主語受身, 結果状態の叙述)

a. *Na ścianie jest zawieszony obraz.*

na に : 前置詞 ; ścianie 壁 : 名詞前置格 ; jest (ある) : 助動詞 3 人称現在形 ;
zawieszony 掛けられている : 形動詞 3 人称男性形 ; obraz 絵 : 名詞主格 ;

b. *Na ścianie wisi obraz.*

na に : 前置詞 ; ścianie 壁 : 名詞前置格 ; wisi 掛かる : 動詞 3 人称現在形 ; obraz 絵 :
名詞主格 ;

例(ケ)は感情述語による受動文である。話し手の視点は動作主(B)に集中するが、ポーランド語では例(ク)の場合, (ク)a.の受動文を使うよりも, むしろ(ク)b.のように能動文を使うことが多く, より自然であると思われる。

(ケ) A は B に/から愛されている。(感情述語の受身, 特に動作主のマーカに注目)

a. *Adam(A) jest kochany przez Monikę(B).*

Adam 人名(A)主格 ; jest (いる) : 助動詞 3 称現在形 ; kochany 愛されている :
形動詞 3 称男性形 ; przez によって : 前置詞 ; Monikę 人名(B) : 対格 ;

b. *Monika(B) kocha Adama(A)*.

Monika 人名(B)主格；kocha 愛する：動詞3称現在形；Adama 人名(A)対格；

例(コ)は、伝達動詞による受動文である。ポーランド語の訳では、話者の視点は動作主に集中するので、受動文ではなく、以下の(コ)a.のように能動文が用いられる。または、(ク)b.のように「言われた」の代わりに「わかった」という別の動詞の使用も考えられる。なお、どうしても受動文に訳す場合、「言われた」の代わりに、(コ)c.のように「...という情報を受けた」という翻訳の仕方もある。

(コ) AはBに/から「…」と言われた。

(伝達動詞の受身，特に動作主のマーカに注目)

a. *Monika(B) powiedziała Adamowi(A), że...*

Monika 人名(B)主格；powiedziała 言った：動詞3称過去形；Adamowi 人名(A)与格；
że... …という(こと)：接続詞；

b. *Adam(A) dowiedział się od Moniki(B), że...*

Adam 人名(A)主格；dowiedział się わかった/知った：再起動詞3称男性形完了体；
od から：前置詞；Moniki 人名(B)対格；że... …という(こと)：接続詞；

c. *Adam(A) został poinformowany przez Monikę(B), że...*

Adam 人名(A)主格；został (おく)：助動詞3称男性過去形；poinformowany 情報を受けた：形動詞3称男性形；przez によって：前置詞；Monikę 人名(B)対格；
że... という(こと)：接続詞；

参考文献

- Grzegorzyczkowa, Renata. Laskowski, Roman. Wróbel, Henryk 1999. *Gramatyka współczesnego języka polskiego: Morfologia*. Warszawa: Wydawnictwo Naukowe PWN.
- Nagórko, Alicja 2001. *Zarys gramatyki polskiej (ze słowotwórstwem)*. Wydawnictwo Naukowe PWN.